

広  
報

# 常陸大宮

2024

1

No.232

特集

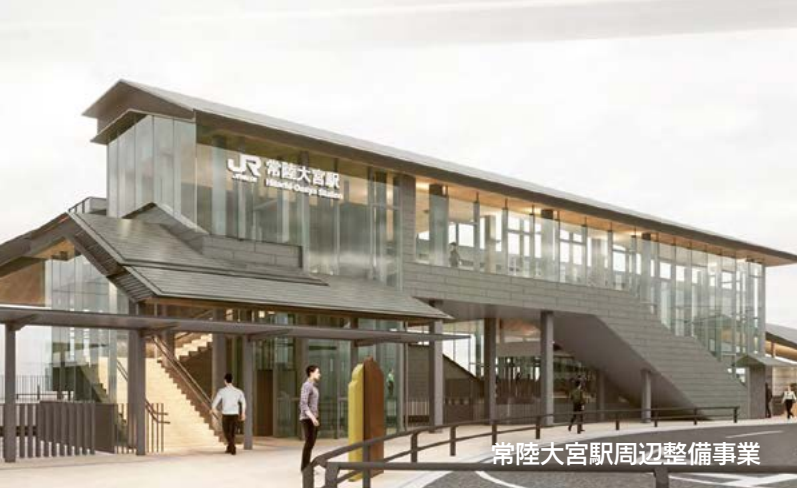
## おいしいを届ける

常陸大宮市の学校給食

【表紙】

12月21日、冬至給食と題し、ほうとう汁などを提供しました。子供たちは、普段見ることのない太さの麺に驚きながら美味しく給食を食べていました。

(撮影協力：常陸大宮市立緒川小学校)



常陸大宮駅周辺整備事業

# 令和 新年のご

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。市民の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。また、令和6年能登半島地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

令和6年に本市は、市制施行20周年を迎えますが、これまでの政策展開を踏襲・継続しつつ、国において策定されたデジタル田園都市国家構想の内容を踏まえながら、更なる深化を促す施策に取り組んでいきます。

私の政策の一丁目一番地である「常陸大宮駅周辺整備事業」では、駅舎の改築工事に加え、駅東西自由通路の整備工事に着手します。今後は、ハード事業と併せて、まちの活気やにぎわいを創出するためのソフト事業を展開することにより、民間投資を呼び込むなど経済的な相乗効果を生み出すまちづくりを進めていきます。また、本市への移住定住促進のため、間取りを変えられる構造の住宅建設など、魅力ある「子育て世帯向け住宅整備事業」を進めていきます。

教育分野では、昨年、「学力向上にコミットする教育の推進」として、AIドリルや講義動画などのICT技術を活用し、児童生徒の個々の状況に応じた効果的な学習指導を行い、学力向上や学習意欲を高める「確かな学力育成プロジェクト」などの教育施策を展開しました。本年は、継続的に実施している各種学力検査等の結果を活用し、一人ひとりに合わせた指導や教員の指導力向上へつなげる体制の強化を図り、未来を担う子供たちの教育環境の充実を図っていきます。

観光を軸とした地域振興では、パークアルカディア

や御前山ダムの湖面利用など、民間事業者との連携による新しいアウトドアアクティビティの提供を進めており、今後はエリア拡大など一層の充実に努めます。各地域の振興施策としまして拠点施設となる、各地域センターの整備を順次進めているところではありますが、今年度は、地域のランドマークとなるような木造にこだわった山方地域センターの整備を進めていきます。

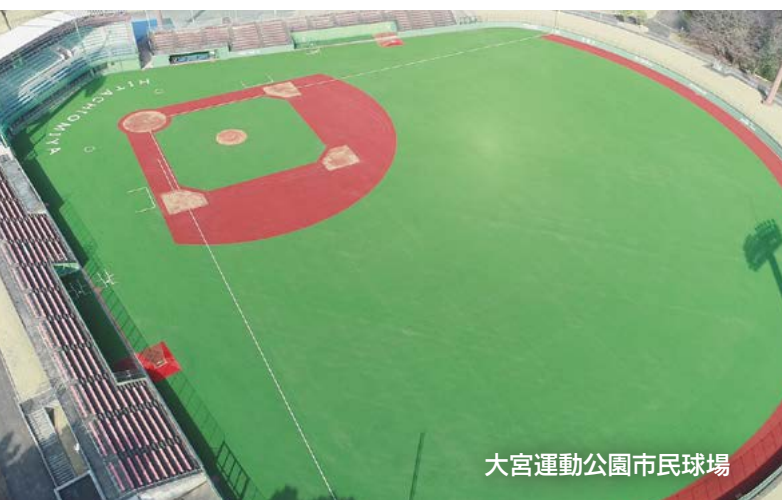
このほか、オーガニック学校給食の実現をきっかけに、より安全で安心な食の提供と持続可能な農業を実現するため有機農業の取り組みをさらに加速させていくことに加え、今後は周辺地域施策と高齢者福祉により力を入れていきます。

これらの事業を推進しながら、課題を的確に精査し、常陸大宮らしさを大事にしながら、市民生活の向上と誰もが安心して住み続けたいと思える市の実現に向けてまい進していく所存です。市民の皆様方をはじめ、関係機関・団体の皆様方には、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸、そして実り多き輝かしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



常陸大宮市長  
鈴木 定幸



大宮運動公園市民球場



有機農業推進事業

# 6年 あいさつ



新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

まず、この度の能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆様の安全と、一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、本市では、常陸大宮市総合計画(ひたちおのみや未来創造ビジョン)に基づき、各種事業が進められております。駅前開発をはじめ、ショッピングセンターピサー口には、屋内子どもの遊び場「わくわくピサー口の森」が整備され、学校給食には、本市で生産された有機野菜や有機米が一部導入されるなど、子育てや教育環境の充実が進められております。市議会としても役割と責任をしっかりと自覚し、ご期待に応えられるよう全力を尽くしてまいります。

現在、市議会では、議会改革推進特別委員会を設置し、議会ICT化の推進、議会の活性化や機能強化などについて議論を重ねております。

特に、ICT化の推進につきましては、喫緊の課題ととらえ、令和5年第1回定例会よりタブレット端末を活用したペーパーレス会議を開始しました。

また、常陸大宮市議会のFacebook、Instagramを新たに開設し、議会の審議状況などをより分かりやすく発信しております。

さらに、大規模な災害の発生や感染症のまん延などの非常事態においても、議会活動を機能停止すること

なく、議会機能を保持する必要性が求められていることから、「常陸大宮市議会業務継続計画(議会BCP)」を策定しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見送っていましたが市民との議会報告会・意見交換会につきまして、4年ぶりに開催することができました。意見交換会では様々な市政等に対する貴重なご意見、ご要望をいただきました。市議会としましても、市民の声として、積極的に市政に反映する流れにつなげてまいります。

また、新たな試みとして、議会に対する関心を深めてもらうことを目的に、市内県立高校2校の高校生との意見交換会を開催しました。高校生目線での提案や活発な意見交換ができ大変参考になりました。より議会を身近に感じてもらえるよう継続的な交流を図ってまいります。

結びにあたり、新しい年が皆さまにとって、幸多き素晴らしい一年となりますよう心より祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



常陸大宮市議会議員  
武石 寿長



特集

# おいしいを届ける

## 常陸大宮市の学校給食

学校給食には、子供たちの体づくり、食育、集団行動などさまざまな役割があります。

今月号の特集では、常陸大宮市の学校給食に関する取り組みや学校給食には欠かせない栄養士・調理員の仕事、小中学校に給食が届くまでの工程をご紹介します。

問 常陸大宮市学校給食センター Tel 53-3394

### 令和3年に新しくなった 学校給食センター

鷹巣地区の大宮第一中学校跡地に新たに常陸大宮市学校給食センターを建設し、令和3年4月から稼働が始まりました。

現在、常陸大宮市には、給食センターが2か所あります。常陸大宮市学校給食センターから大宮地域、緒川地域、御前山地域に約2,300食を、山方学校給食センターから山方地域、美和地域に約400食を提供しています。また、今後の児童生徒数の推移を考慮し、常陸大宮市学校給食センターでは、最大約2,500食が調理可能になっています。

### 令和4年度から 「オーガニック給食化」の取り組みを開始

令和4年度は、農薬や化学肥料不使用で栽培された野菜約4トン为学校給食に取り入れしました。今年度も、使用頻度が高い、ニンジンなどの根菜類や、コマツナなどの葉物類を中心に、可能な限り、農薬・化学肥料不使用で栽培した野菜を使用しています。

さらに、令和5年11月6日からは、農薬・化学肥料不使用の米の提供を開始しました。生産者が「実がふっくらとして良い出来だ」と自信を持って話した米は、給食でも、子供たちに大好評です。

今後は、米は有機米100%、野菜は品目や使用回数を増やすことを目指して取り組んでいきます。



常陸大宮市学校給食センター



11月6日、市内の小中学校で初めて農薬・化学肥料不使用の米を提供しました。子供たちは、「つやつやしている」「甘味があっておいしい」とご飯を頬張っていました。

栄養バランスの整った  
おいしい給食を食べてほしい……！

## 学校給食を支える

## 栄養士・調理員

### 栄養バランスだけでなく おいしさや旬を考えたメニュー

常陸大宮市の給食は市の管理栄養士1人、栄養士2人、茨城県の栄養教諭2人が在籍し、おいしく、栄養バランスのとれた給食を考えています。

給食の献立は約2か月前に立てられます。文部科学省で定めている「学校給食摂取基準」を満たすよう栄養バランスを整えるのはもちろんのこと、季節のイベントや食材の旬を踏まえた献立を考えています。6～7ページで紹介している冬至給食のほか、クリスマス給食ではクリスマスケーキや鶏肉のハーブ焼き、冬休み明けの給食では紅白なますや雑煮など、子供たちに季節を楽しんでもらえるような工夫をしています。

### 食の専門家が知恵を出し合う 週に1回の給食づくり会議

献立は立てて終わりではなく、提供する前の週に作り方や食材量の打ち合わせも行っています。栄養士が考えた献立に、調理員の経験から食材量のバランスについて意見を出したりと、おいしい給食を提供できるよう、それぞれの専門的な視点から、よりよい給食を提供できるよう知恵を出し合います。

また、調理員や食材がどのような流れで動いていくのか工程表を作成し、打ち合わせで動きの確認を行っています。給食センター内は洗う前の野菜や、生の肉・魚などを扱う区域、食材に火を通したり、食缶への盛り付けを行う区域が別れており、極力、区域をまたがないよう、調理員の動きを事前に考えています。



**1** 学校給食センターの調理員の皆さん。現在は調理員28人で約2,300食を作っています。

**2** 週に1回、次週の給食の作り方などを打ち合わせする様子。調理時に迷いなくスムーズに行えるよう、食材や調理員の動きなどを確認しています。

**3** 調理員全員の動きがまとめられた工程表。誰がどのように動くか、詳細に書かれています。

### 善意をありがとう

11月10日に農事組合法人奥久慈しゃも生産組合様から奥久慈しゃも肉35kgのご寄付をいただきました。「奥久慈が誇る地鶏の最高傑作である『奥久慈しゃも肉』をぜひとも子供たちが食べる学校給食の食材として使用していただきたい」との思いでいただいた奥久慈しゃも肉は、11月24日の給食で混ぜご飯として、市内の小中学生に提供しました。



▲11月24日の給食で提供した奥久慈しゃも肉の混ぜご飯



▲(右) 農業法人奥久慈しゃも生産組合 益子実津雄代表理事

# 給食が届くまで

1

7:00 ~ 9:00

野菜の納品・下処理

給食作りは、小中学生に給食が届く約5時間前から準備が始まります。使用する生鮮食品は、当日7時ごろに給食センターに届けられ、数量や状態を確認します。その後、野菜は野菜類下処理室で洗浄し、人の手で食べやすい大きさにカットしていきます。野菜や果物の洗浄は、加熱するものは3回、生で食べるものは4回、シンクを変えて洗浄します。また、洗浄にはオゾン水を使用したりと、安全な給食を届けるため、徹底した衛生管理を行っています。



2

8:00 ~ 9:00

肉類の納品・下処理

肉も野菜などと同じく、量や状態を確認し、除ききれなかったスジを取り除いてから調理します。

肉、魚、卵などは、野菜類と別の下処理室で処理し、調理されるまで一緒になることはありません。また、下処理したものは、前後両方が開く「パススルー冷蔵庫」を通して、調理室に運ばれます。



5

12:10

各学校で給食の時間

※給食時間は学校ごとに異なります。

12月21日  
冬至給食

ご飯  
牛乳  
ニシン竜田揚げ  
磯香和え  
ほうとう汁



おいしい給食に  
思わず笑顔……！

待ちに待った給食、  
勢いよくいただきます！



友達と一緒に食べる  
給食の時間は、  
おいしくて楽しい！



4

10:40

検食・配送



給食が出来上がったなら、給食センター職員が検食をし、安全性を確認した後に、各学校に配送します。トラックに積み込むときには、給食に異物が入らないよう、トラックと配送口を密着させる専用のシェルターが設けられています。

6

15:00 ~

食器の洗浄

小中学校での給食が終わると、使用した食器や食缶が給食センターに戻ってきます。給食センターで使用している食洗機は、届いた食器をかごから取り出すことなく、かごと綺麗に洗浄することができます。給食センター建て替え前に使用していたものと比べ、大幅な省エネと職員負担軽減を実現しました。



### 3 9:00 ~ 10:30 調理開始

食材の下処理が完了した9時ごろに調理がスタートします。給食調理では、大量調理ならではの機械を使い、一気に作り上げられます。



▲冬至給食の主役であるほうとう汁は「回転釜」と呼ばれる大きな鍋を3つ使って調理しました。



◀主菜となる揚げ物は「連続フライヤー」と呼ばれる、食材を金網のコンベアに挟み、油の中を移動させながら揚げ調理を行う機械を使っています。

▶給食に彩りを添える副菜は和え物調理室で調理されます。大きなボウルには、ハンドルがついており、ボウルの角度を自由に操作することができます。



#### 注目ポイント①

大量調理でも「おいしい一手間」は外さない！

ほうとう汁で使う油揚げの油抜きや、汁物の調理中に出たアクのアク取りなど、大量に作る学校給食調理でも、子供たちにおいしく食べてもらうための一手間は欠かしません。



▲油揚げの油抜き



▲ほうとう汁のアク取り

#### 注目ポイント②

火の通りは温度計で確認！

大量調理の基準にそって、食材の中心の温度が75度以上の状態を1分以上キープするよう加熱をします。できあがった料理は何回も温度を測り、75度以上になっていることを確認してから、食缶に移され、各学校に運ばれていきます。



### 給食センターのここがすごい！

炊飯施設併設でバリエーション豊かなご飯が提供可能に！

多くの自治体では、給食センターと別の場所で炊飯し、お弁当箱に詰められたご飯が小中学校へ直接配送されていますが、常陸大宮市では、給食センター内に炊飯施設が導入されています。給食センター内に炊飯施設があることで、5ページにて紹介した奥久慈しゃもを使った炊き込みご飯のほか、ピラフ、チャーハンなど、いろんなアレンジご飯を提供することができ、バリエーション豊かな給食が提供可能になっています。



▲全長10mにもなるガス式コンベアを流れながら、ご飯が炊き上がっていきます。

# 令和5年に叙勲・褒章を受章された皆さん(順不同)

※受章者のうち、掲載の承諾を得られた方についてご紹介しています。(死亡叙勲を除く。)

■瑞宝双光章

**秋山 幸雄** さん  
(教育功労)

平成7年に美和中学校長として定年退職されるまで、深い識見と強い信念をもって、教育の諸活動を展開し、学力・体力の向上、生徒指導の充実に尽力されました。



■瑞宝双光章

**赤塚 孝** さん  
(教育功労)

平成7年に大子町立黒沢小学校長として定年退職されるまで、山間僻地教育の充実に専念され、熱意あふれる指導と強い愛情をもって学校教育に尽力されました。



■瑞宝双光章

**藤田 秀男** さん  
(教育功労)

平成7年に瓜連町立瓜連中学校長として定年退職されるまで、明確な教育理念と広い識見をもち、教育者としての使命感に燃えて、職務の遂行に専念されました。



■瑞宝単光章

**小船 進** さん  
(統計調査功労)

長きにわたり国勢調査員として従事され、このほかにも数多くの統計調査にあたり、常に円滑かつ正確な統計調査を遂行して統計業務の推進に貢献されました。



■瑞宝双光章

**青木 喜一** さん  
(警察功労)

長きにわたり警察職務に精励され、公共の安全と秩序の維持に尽力されました。また、警察威信と信頼の高揚を図り、警察運営全般の円滑な推進に大きく貢献されました。



■瑞宝単光章

**関根 俊雄** さん  
(警察功労)

長きにわたり警備部門において活躍され、長年培った豊富な経験と強い正義感、警備知識を發揮し、警備諸対策を強力に推進し、警備協力体制の整備拡充に貢献されました。



■瑞宝単光章

**金子 一行** さん  
(消防功労)

平成6年に消防本部警防課に着任後、二大河川がある市の地域性に対し、県内初の潜水隊発足へと導き、水難事故対応の組織基盤を構築されました。



■旭日単光章

**富山 修三** さん  
(地方自治功労)

平成7年から大宮町議会議員、平成16年には市議会議員として在籍され、豊富な経験と優れた政策識見を遺憾なく發揮し、地方自治の発展に尽力されました。





瑞宝双光章

**木村 政美** さん  
(消防功勞)

昭和50年に消防士として奉職以来、常に消防業務に積極的に取り組み、豊富な経験と卓越した行政手腕を発揮され、消防組織の確立と消防施設の拡充に貢献されました。



瑞宝単光章

**坂本 茂** さん  
(海上保安功勞)

昭和52年に海上保安官として任官し、その後、巡視艇「いそかぜ」の船長に就任しました。崇高な精神と全身全霊をもって、国家公共のため海上保安庁発展に尽力されました。



瑞宝単光章

**三村 善昭** さん  
(矯正業務功勞)

多年にわたり、困難な矯正業務の第一線にあって、被収容者の処遇及び施設の管理運営等に精励され、矯正職員として処遇指導にあたり、矯正業務の発展に貢献されました。



### 叙勲・褒章とは…

国家または公共に対して功勞のある方への表彰を叙勲、社会の各分野で優れた行いや業績のある方への表彰を褒章といいます。生存者に対する叙勲・褒章は春と秋の2回行われます。この他に随時授与される高齢者叙勲、外国人叙勲や、公益のために私財を寄付した方への紺綬褒章などがあります。

## 令和6年 新年賀詞交歓会

恒例の新年賀詞交歓会を市文化センターで開催しました。式典の前に、小ホールで久慈書道会（代表：中崎溪翠先生）の書道パフォーマンスが披露され、想いのこもった気迫あるひと筆に、来場者から多くの拍手が送られていました。

式典では、叙勲受章者への記念品贈呈、高額寄附者への感謝状贈呈などを行いました。また会場には、JA常陸奥久慈枝物部会の枝物が展示され、式典に花を添えました。



9/17

山方地域 笹崎さんが県内で3人目の快拳小学生でそば打ちの検定初段合格

山方地域在住の小学6年生 笹崎大雅さんが、NPO法人そばネットジャパンのそば打ち技能検定「そばリスト技能検定」初段に合格しました。

9月の検定に向け、普段は1週間に1度通っているそば教室に、夏休みはできる限り参加し、試験1週間前には、学童から帰った後も、1日3回自宅で練習していたという笹崎さん。「とてもうれしかった。達成感があった」と合格したときの感想を全力の笑顔で話してくれました。



▲笹崎大雅さん

10/27

青少年相談員として20年にわたり尽力 山方地域 藤来さんが知事ほう賞受賞

茨城県庁で開催された「茨城県青少年相談員研修大会」にて、常陸大宮市青少年相談員会で青少年相談員としてご活躍されている藤来好子さんが表彰されました。

藤来さんは、20年にわたり、児童生徒の登下校時の見守りや不審者対応、街頭相談などに積極的に取り組み、現在は、山方支部長を務められています。このような青少年の健全育成にご尽力された功績が認められ、今回の受賞に至りました。



▲藤来好子さん

11/25

野外音楽堂でオカリナの音色を楽しむ 宗次郎森の音楽会 開催

緒川地域にあるオカリナの森野外音楽堂で、常陸大宮大使であるオカリナ奏者の宗次郎さんのコンサート「2023秋 宗次郎森の音楽会 in 常陸大宮」を開催しました。「宗次郎森の音楽会 in 常陸大宮」は、毎年、春と秋に開催しており、例年好評を博しているコンサートです。

コンサートは、紅葉の森に響く美しい音色と小鳥のさえずりのハーモニーに包まれ、野外音楽堂ならではののどやかな時間になりました。



▲宗次郎さんの美しい演奏に森全体が包まれました。

11/25

青少年や青少年健全育成尽力者を表彰 青少年をたたえる市民のつどい

次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に「第19回青少年をたたえる市民のつどい」が、常陸大宮市文化センター●ロゼホールで開催されました。

式典では、市内小中学校から応募のあった青少年の主張作文200点の中から優秀賞6名、会長奨励賞9名の表彰と優秀賞受賞者による作文発表が行われました。また、善行青少年として4名が、青少年健全育成者として1名が表彰されました。



▲受賞者の皆さん

11/26

住宅地の冬の夜を彩る  
小場地区でイルミネーションを実施

小場地区の住民有志で構成される「OBA生き活き会」が、夜を華やかに演出する「ロマンチック小場イルミネーション」を実施しました。小場十文字などに色とりどりの電飾を設置しました。

イルミネーション初日である11月26日には点灯式が開催されました。約100人が集まり、サンタクロースの格好をしたスタッフから振る舞われた甘酒やけんちんそばを食べながらイルミネーションを楽しみました。



▲昨年より電飾数が増えたイルミネーションは、1月28日まで小場地区を明るく照らしました。

10/15~

4年ぶりの開催に市内の芸術が集う

12/10

常陸大宮市文化祭

4年ぶりに令和5年度常陸大宮市文化祭を開催しました。

中央公民館、文化センター、各地域センターを会場に、作品展示、発表会、各種大会、茶会を開催しました。文化協会会員や、市内の子供たちなども参加し、日頃の練習の成果を披露しました。市内全体でのべ4,252人が来場して、文化芸術に触れ、盛況のうちに終わることができました。



▲11月17日から19日に開催した大宮地域美術展

12/10

スピーチやダンスを通して交流を深める  
国際交流フェスティバル

「第14回国際交流フェスティバル～語ろう！歌おう！輪になろう！～」(主催 常陸大宮市国際交流協会)が開催されました。

海外出身者による日本語スピーチコンテストや楽器演奏、ダンスなど、各国の特色を生かしたステージ発表を行いました。

約200人が参加し、様々な国の文化に触れ、海外出身者と市民の親睦を深めるイベントになりました。



▲日本語スピーチコンテストで最優秀賞を受賞したサムンドラ・カトリさん



▲11月18日に開催した芸術発表会で民舞を披露する様子



▲11月19日に開催した音楽祭で合唱を披露する様子

12/13 日本全国で初の協定締結  
有機農業 栽培管理に関する協定

みどりの食料システム法に基づき、特定区域に設定した鷹巣地区の水田で営農している農業者同士が「有機農業を促進するための栽培管理に関する協定」を締結し、市長が認可しました。

この協定は、有機農業と慣行農業の共存を目的としており、制度発足後、全国で初めての協定となりました。今後も、地域ぐるみで有機農業の団地化を推進していきます。



▲(右) 小野瀬和夫鷹巣区長

12/14 宝くじ売上による助成を公園整備に活用  
神奉地公園に新たな遊具を設置

山方地域にある神奉地公園に新たな遊具を設置しました。今回、設置した遊具は「ビッグフォレスト」という名前の遊具で、ハンディキャップの有無にかかわらず、みんなで一緒に遊べるインクルーシブ遊具になっています。

なお、この遊具には、宝くじ社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を活用し、設置しました。



▲大小2つのすべり台やうんていなどが備わった大型遊具を設置しました。

12/13 緒川小学校の特色を生かした教育  
・21 「イノシシの生態に関する授業」「詩のボクシング大会」を実施

12月13日、緒川小学校3年生が、市内でイノシシ駆除を行う増山洋治さんを講師に迎え、イノシシの生態についての講義と、駆除時に猟犬に装着しているGPS機器を使ったデモンストレーションを行いました。この授業は、4年前、イノシシが校庭に掘った穴に児童たちが疑問をもったことがきっかけで始まりました。授業では、児童たちが事前に調べた中で出た疑問に、増山さんが写真や標本を見せながら答え、児童たちはイノシシについて理解を深めました。

12月21日には、「詩のボクシング大会」が開催されました。「詩のボクシング」とは、赤コーナー、青コーナーに分かれ、交代に詩の朗読を行い、詩の内容や表現方法で勝敗をつけるものです。緒川小学校では、詩の学習に力を入れており、月1回の校内コンクールや、新聞の詩のコーナーへの寄稿を行っています。発表者は、大会までに何度も練習を重ね、内容だけでなく、声の大きさや高さなど、読み方で、観客を自作の詩の世界へと引き込んでいました。



▲イノシシの標本に興味津々の児童たち



▲詩のボクシング大会では、選手や司会、レフェリーを務めた児童たちが会場を盛り上げました。

12/14 オリンピックの価値や精神を学ぶ  
・15 JOC オリンピック教室を開催

大宮中学校2年生を対象に、JOCオリンピック教室が開催されました。オリンピックの寺村美穂さん(水泳/競泳)と高尾千穂さん(スキー/フリースタイル)が講師となり、実際にオリンピックに出場した貴重な経験を交えた「オリンピックバリュー(オリンピックの価値や精神)」などの話に生徒は耳を傾けていました。生徒からは「オリンピック教室で学んだことをこれからの部活動、勉強などに生かしていきたい」などの感想がありました。



▲水泳でオリンピックに出場した寺村美穂さんからの話を真剣に聞く大宮中学校2年生

12/15 小瀬高校が2年連続県大会優勝  
花いけバトル優勝表敬訪問

花いけバトル茨城県大会で、小瀬高等学校3年生の高野壯磨さん、2年生の木村柊汰さんペアが見事優勝に輝きました。市長への優勝報告で、高野さんは「県大会は手ごたえがあったが、優勝するとは思っていなかった」、木村さんは「初めての大会でよくわからなかったが、個性を出した作品が作れた」と大会の感想を述べました。

なお、花いけバトル全国大会は、2月4日に香川県で開催される予定です。



▲(左から2番目から)小瀬高等学校3年生の高野壯磨さん、2年生の木村柊汰さん

1/8 団員行進・消防車のパレードも実施  
常陸大宮市消防団 出初式

毎年1月の2週目に行われる常陸大宮市消防団の出初式が常陸大宮市文化センター●ロゼホール前の広場で開催されました。式には消防職員や消防団員約650名が参加しました。

今回は初の取り組みとして、消防団員の行進や消防車41台が連なるパレードを行い、子供たちなどの観客は、規律正しく勇ましい姿に、盛り上がりを見せていました。



▲ロゼホール前の市道で行ったパレードに多くの観客が集いました。



# スポーツ大会結果

## 第20回常陸大宮市近郊中学校バスケットボール大会

開催日：令和5年12月9日、10日

会場：西部総合公園体育館

主催：一般財団法人常陸大宮市スポーツ協会

参加チーム：12チーム（男子の部6チーム、女子の部6チーム）

### 【大会結果】

#### 男子の部

優勝 常陸大宮市立大宮中学校

準優勝 東海村立東海南中学校

第3位 常陸太田市立瑞竜中学校

敢闘賞 常陸大宮市立第二中学校

#### 女子の部

優勝 那珂市立瓜連中学校

準優勝 常陸太田市立瑞竜中学校

第3位 常陸大宮市立大宮中学校

敢闘賞 大子町立大子中学校・  
生瀬中学校合同チーム



▲男子の部優勝 常陸大宮市立大宮中学校



▲女子の部第3位 常陸大宮市立大宮中学校

## 善意をありがとう

○有限会社瑞穂農場様 100万円  
(奨学基金・善意銀行へ)



○水戸ヤクルト販売株式会社様 自走式車いす4台



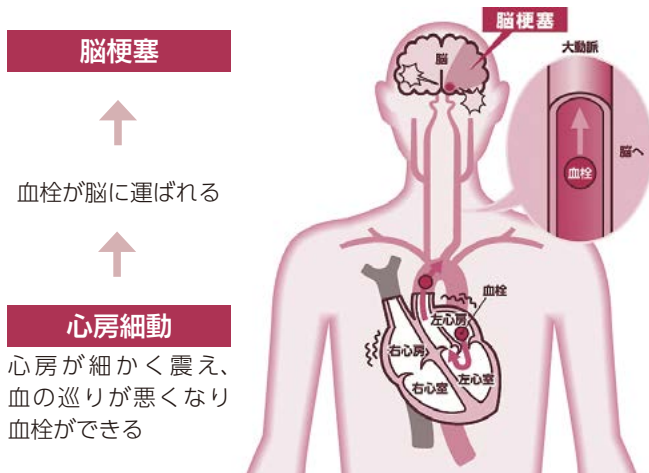
## 心電図検査で脳梗塞を防ぐ！

健康診断は、さまざまな病気の早期発見・早期治療につなげるだけでなく、病気そのものを予防する役割があります。検査項目の中でも、心電図検査は脳梗塞の原因となる「心房細動」の早期発見につながります。脳梗塞は突然発症し、寝たきりや、最悪の場合、命を落とす危険性もあります。年に1回は心電図検査を含めた健康診断を受けましょう。

### 心房細動って何？

心房細動は心臓の「心房」という部分が小刻みに震える状態をいい、心房内の血の巡りが悪くなり、血のかたまりである血栓ができやすくなります。心房でできた血栓が、脳に流れ、脳の血管を詰まらせ、脳梗塞が発生します。

心房細動と判定されるケースの約半分以上が無症状ですが、自覚症状が出る場合には、動悸、めまい、胸の痛み・不快感などがみられます。

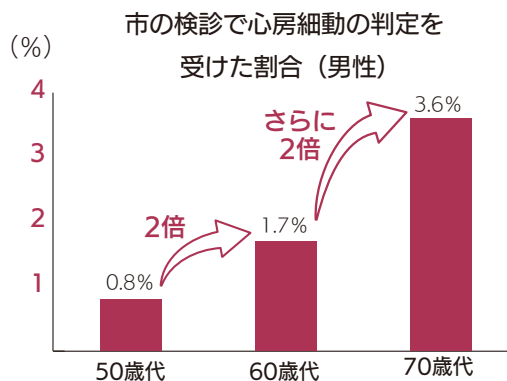


イラストは心房細動週間ウェブサイトより転載

### 年齢が進むにつれ増える心房細動

年齢が進むにつれ、心房細動の所見が出る率が高まり、判定者の数は60代で急増します。市の健康診断の結果でも、男性の受診者において同様の傾向となっています。

心房細動の所見が出たときには、特に自覚症状がなくても放置せず、必ず医療機関を受診してください。



### 年に1回は健康診断を受けましょう

市では、国民健康保険に加入している方や、会社員の方の扶養に入っている方などを対象に、健康診断を実施しています。年齢や性別などにより、受診内容や金額が異なりますので、まずはお気軽に、常陸大宮市総合保健福祉センター「かがやき」へお問い合わせください。

また、令和6年度の各種健（検）診案内を3～4月の間に自治会の回覧板や郵送などでお知らせする予定です。ぜひ、市の健康診断をご活用ください。

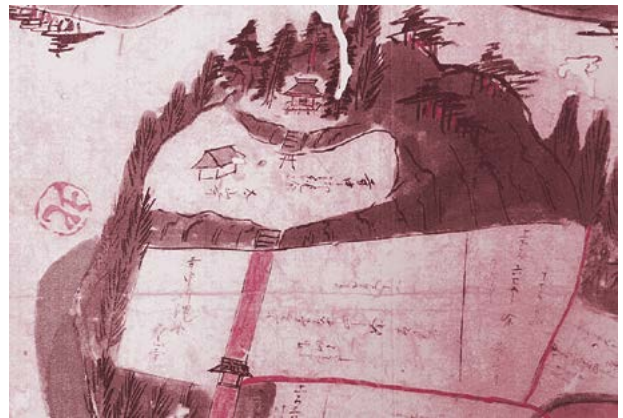
問 常陸大宮市総合保健福祉センター「かがやき」 TEL 54-7121

## 下檜沢の廃寺 太山寺

常陸大宮市域には、かつて多くの寺院がありました。江戸時代前期の寛文年間（1661～1673）の時点で、常陸大宮市域には少なくとも200を超える寺院が存在したことがわかっています。しかし、徳川光圀や徳川齊昭が実施した寺社改革や、明治初期の廃仏毀釈によって、寺院の多くがその姿を失いました。現在は、地名やわずかな史料、伝承からその痕跡を伺うことができますが、その実態については不明なことが多いです。今回は、その中から、下檜沢地区にかつて存在した太山寺について紹介していきます。

## ◇太山寺の創立と歴史

太山寺は、下檜沢字皆沢下に所在した真言宗の寺院です。現在、寺院跡には竹林が広がりますが、幕末に描かれた下檜沢村絵図には本堂や山門、参道などを確認でき、往時の様子がうかがえます。太山寺の創立年代は不明ですが、記録によると応永元年（1394）に宥知上人が中興したと伝わります。太山寺に関する資料は極めて少なく、詳細な歴史をたどることは非常に難しいですが、少なくとも中世を通じて小室氏の祈願寺（神仏に願い事を行うための寺院）であったことが推定されています。その後、江戸時代になると、寛文3年（1663）時点で檀那125名を数えるなど、地域で有力な寺院の1つでしたが、天保6年（1835）に火災によって全焼してしまいます。翌年に再建され、以後も寺院はしばらく存続したようですが、明治2年（1869）に太山寺の除地が村人に払い下げられており、この頃には



▲江戸時代の太山寺（『美和村史料 近世村絵図』より転載）

既に廃寺になっていたと考えられます。

## ◇太山寺と小室氏の関係

佐竹氏の系図によると、小室氏は佐竹義盛の弟である粟義有を祖とする家系と伝わりますが、他にも佐竹一族である酒出氏や山入氏の子孫という説も存在しており、正確な出身地については不明です。小室氏に関する記録としては、天文8年（1539）に小室丹後守宗貞らが高部諏訪神社の社殿造営に関与したほか、元龜3年（1572）には小室信濃が満福寺薬師堂（上檜沢地区）の新造に携わるなど、16世紀の美和地域で影響力を有した一族であったことがうかがえます。太山寺との関係については、文龜元年（1501）に小室豊後が、天文3年（1534）に小室縫殿之介が太山寺で祈願を行い、寺院から願書を授かっています。特に小室豊後の時代は佐竹の乱が最終盤を迎えており、檜沢城を舞台に激しい戦闘が繰り広げられた頃でもあったことから、政治的・軍事的な意味での祈願が行われていたのかもしれませんが。太山寺による願書は享和3年（1803）が最新であることから、小室氏による祈願は江戸時代以降も行われていたことが確認できます。

## 【参考文献】

- ・美和村史編さん委員会編『美和村史』平成5年
- ・常陸大宮市史編さん委員会編『常陸大宮市史 資料編2 古代・中世』令和5年
- ・山川千博編『美和の中世城館—檜沢城—』（森と地域の調和を考える会、令和元年）（高橋拓也）



▲太山寺跡地（下檜沢地区）

問 文書館 TEL 52-0571





広い後部座席、特殊な放水装置などの工夫がたくさん！

## 新しくなった消防車をご紹介します

水槽付消防ポンプ自動車（水タンク付ポンプ自動車）が18年ぶりに更新され、12月8日から常陸大宮市東消防署で運用開始しました。

通常の消防車は、水槽がついていないため、消火に防火水槽が必要になります。今回更新した消防車では、1,500ℓの水槽がついており、防火水槽から遠い現場などでも、到着後、速やかに消火活動が行えるようになっています。



### 更新した水槽付消防ポンプ車の新機能

#### 注目ポイント①

#### 空気ボンベが背負いやすい 広々とした後部座席

1秒を争う出動時、消防隊員は、消防車内で空気ボンベなどの装着を行います。今までの消防車では、座った状態で装備を整える必要がありましたが、今回、更新した車両では、後部座席の天井が高くなり、立った状態で装備を整えることができます。



#### 注目ポイント②

#### 消火剤入りの水を放水する装置で 水量を抑えての消火を実現

消火剤入りの水を泡にして放水することで、燃焼しているものに染み込みやすく、消火効率が上がります。また、泡で消火することで、火が燃え続ける要素の一つである酸素を遮断する効果もあります。



#### 注目ポイント③

#### 消防車両本体に設置された作業灯で 夜間の火災現場でも作業しやすく

更新した消防車両の右側面と後部には、作業現場を照らす照明が付いています。また、現場直近まで持ち運べる可搬型が1器、車両周辺を照射する作業灯等が車体に複数付いており、今までよりも夜間の火災現場で作業がしやすくなっています。



## 地域おこし協力隊が行く！

常陸大宮市で活躍する地域おこし協力隊 本田真美隊員の活動をご紹介します。本田隊員は、農家民泊推進マネージャーとして地域振興を行っています。

### 七味づくりワークショップを開催します！

「和ハーブ七味づくりワークショップ」を2月17日にかわプラザにて開催します！辛さも香りも自由自在、世界でたったひとつのオリジナル七味を作ってみませんか？材料の和ハーブは、市内のほ場で栽培したものも使用します。

また、七味だけでなく、辛味を抜いたハーブ塩や、ふりかけも作れます。詳細は同日発行のお知らせ版をご覧ください。お申込み、お待ちしております！



▲（右）昨年開催した「和ハーブ七味づくりワークショップ」で参加者に説明する本田隊員

## Instagram Photo gallery

常陸大宮市で撮影されたInstagram投稿をご紹介します！



「三王山自然公園」  
Photo by @kikurin\_photo



「DE10形ディーゼル機関車」  
Photo by @chibi\_masa

常陸大宮市で撮影されたInstagram投稿を抜粋し、市公式Instagramでのリポスト、広報紙掲載を毎月行っています。市内の風景、イベント、何気ない日常など、「#常陸大宮市」「#常陸大宮」「#おみやファン」などのハッシュタグを付けてご投稿ください！

常陸大宮市  
公式Instagramは  
こちらから



HITACHIOMIYA.OFFICIAL

市の最新情報、ごみ収集日の通知機能などが便利なスマートフォン向けアプリ「ひたまるアプリ」をご利用ください！



iOS



Android

広報常陸大宮 令和6年1月号  
(令和6年1月25日発行)  
発行：常陸大宮市 編集：企画政策課  
〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6  
電話 0295-52-1111  
E-mail kouhou@city.hitachiomiya.lg.jp

常陸大宮市の人口  
(1月1日現在)  
人口：37,194人  
(男性：18,407人／女性：18,787人)  
世帯数：15,578世帯



再生紙と植物油インクを使用しています。